

ポッポだより 7月号

土佐町教育委員会（子育て支援センター）

☎ 82-0483

（担当 川村）



保育園に行っていないお子さんと保護者の方を対象に、気軽に遊べる場所を提供し、いろいろな遊びを一緒に楽しみながら、親子のふれあいや交流をたのしめます。



◇遊びの場、交流の場 《ポッポ広場》

月曜日	保健福祉センター（母子室）	（9：00～15：00）
火曜日	町立図書館ホール（田井支所横）	（9：00～11：30）
水曜日	保健福祉センター（母子室）	（9：00～15：00）
木曜日	体験保育（みつば保育園）	（9：00～11：00）
	保健福祉センター（母子室）	（9：00～15：00）
金曜日	保健福祉センター（母子室）	（9：00～15：00）

育児に疲れた時、仲間が欲しいと思った時、自由に気楽に交流できる場所として「ポッポ広場」をご利用ください。

7月の予定

7/1～5（月～金）	ものづくり 『七夕飾り作り』
7/4（木）	保育園でのポッポ広場（七夕会）
7/12（金）	ミニお話会（保健福祉センター母子室）

☆保育園での広場は、7/5～8/31までお休みです。

☆図書館ホールでの広場は、7/16～8/31までお休み。

☆保健センター母子室での広場は、保育園・図書館ホールがお休みの間も開いています。

★7月から天候を見てフール遊びが出来るように、準備をします。持って来てもらう物は、タオルや着替え等です。

6月の離乳食教室にはたくさんの方に参加をして頂きました。有難うございました。お母さんたちが実習をしている間、お子さんたちは支援室で・・・《スヤスヤ眠ったり・一人遊びをしたり・お母さんを恋しがったり》 次の離乳食教室は10月にあります。



一人遊び
じょうず
だね♡

三人仲良
くスヤ
スヤ♡



【今月の絵本】

「おっぱい どこ？」



食欲と睡眠欲は乳児さんにも共感しやすい。「おっぱいどこ？」から「おっぱいここよ」という聞き心地良い繰り返しを味わって・・・

自分一相手一物の三者の関り 「発達の道すじにそった絵本の選び方」 瀧 薫著より
6か月の赤ちゃんは、おもちゃを触って遊んでいる時はおもちゃだけを興味を持って見つめ、あやしてもらっている時はその人だけに注意をむけています。けれども、9か月から10か月頃になると、何か興味のあるものを見つけると、すぐにさわらないで大人の方を振り返ったり、それをもって大人に見せたりするようになります。それまで自分と物、自分と相手、の二者の世界に生きてきた赤ちゃんが、自分一相手一物、という三者の関りを認識するようになります。この頃になると、絵本の楽しみを読み手の大人と共有して喜ぶようになります。身近な大人と楽しさを共有する体験は、赤ちゃん和大人の愛着を形成していきます。